

科目名	石川未来プロジェクト I			授業形態	開講期間				
	英文科目名	Project to think about futrue of Ishikawa I		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信 ー	開講時間				
受講定員等	担当教員 佐川 哲也 外1名			成績評価の方法	開講場所	①チーム活動の取り組み状況（出席を含む） ②成果発表（中間，最終） ③レポート・報告書（中間，最終） ④学習取り組み意欲			
	単位数	1単位							
	定員数	50名							
	特別聴講学生等定員								
	科目等履修生定員								
	シティカレッジ聴講生定員								
	定員超過時の選考方法等	本プロジェクトに対する抱負が記載された応募資料を見て判断							
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：				受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	
科目の内容	<p>①石川の未来を見据えて、今すべきことを提案する科目であり、未来の石川を学生が作る、という壮大なプロジェクトでもある。既存の枠組みやしらみにとらわれず、学生らの柔軟な発想力とパワーを結集し、1年かけて提案を作成し、石川県庁をはじめ、重要なステークホルダー（利害関係者）に問う、というプロジェクト型の授業である。</p> <p>②このプロジェクトは単年度の『チーム活動』であるが、各チームが取り組むプロジェクトテーマを統括する大きなテーマ（未来テーマ）は3年に1度変更する。本プロジェクトは2021年から開始する。未来テーマは『人口、100万人。』である。2050年の石川県の人口を100万人にするために、どうすればよいかを考える。2030年達成目標であるSDGs、2050年CO₂実質排出ゼロ、などを見据えたプロジェクトテーマを考案し、1年を掛けてテーマの具体化を進める。</p> <p>③チームは、大学等、学年を超えた混成チームとし、各チームには当コンソーシアムからコーディネータを1名割り当て、プロジェクトの遂行をサポートする。コーディネータは各大学等から選出された教員である。</p> <p>④年間スケジュールの概略は以下の通りですが、プロジェクトの進め方はコーディネータに一任します。</p> <p>⑤科目登録は、登録大学の事情によって、前期・後期に分割されることがある。</p>						その他特記事項		
		<p>4月 オリエンテーション、プロジェクトの進め方</p> <p>5月 <1年生が参加する可能性あり></p> <p>6月 情報収集と整理、ブレインストーミング</p> <p>7月 中間発表</p> <p>8～9月 自主活動</p> <p>10月 アイデアの具象化</p> <p>11～12月 社会実装ほか</p> <p>1月 報告書作成</p> <p>2月 成果発表（コンソーシアムの活動として重要な位置づけ）</p> <p>なお、予定は変更されることがある。</p>						<p>以下の履修条件の遵守を求める。</p> <p>チームで活動する。応募は個人であっても、科目内でチームを組成する。リーダーシップ、コミュニケーション力、協調性などのを発揮する。所属する大学等、学年とは無関係にチームが組成される。</p> <p>1年を通して活動する。4～7月、10～2月（2月は成果発表会）の学期期間中は、1～2回/週の活動、長期休暇中は提案を社会実装したり、学期中では困難な一定期間の連続した活動などを行うことができる。</p> <p>原則的に、活動途中の辞退はできない。</p> <p>活動時間はテーマの内容や遂行状況により増減するが、科目単位相当の活動を求める。</p> <p>遠隔および対面による会合を行う。遠隔の会合をおこなうため、各自ノートPCが必要である。</p>	
授業担当教員紹介			URL	*Ucon-iのホームページ					
ホームページ・メールアドレス等			E-mail	*地域連携専門部会のe-mailアドレス					